

止宣言ヲ後スルハ不可解ナリ若シ容勸的輿論ヲ逆轉セ
シムルトセハ其ノ瞬間ニ於テ休戦スルモ可ナルヘク加
フルニ現在ノ各支部争議團ハ今後尙十日乃至二十日ノ
罷業繼續ニ上障ナキ精力ヲ蓄積シ居ルゴトヲ認識シテ
カラ其ノ意老ヲ蹂躪シスト休戦ヲ發表スルハ大ナル誤
謬ト共ニ其ノ真意ヲ了解スルニ苦シム

ト絶對及對ヲ主張シ首腦部ト激論ヲ交ス所アリ

次ヲ鶴淵英夫、山本仙太郎、目黒留吉、林越喜一等ヨリ
スト休止宣言ヲ首腦部ノ名ニ於テ獨斷專行シタル点ハ
手續上遺憾トス又各支部争議團ノスト繼續ニヨリ罷業
撤回斗争ヲ有利ニ展開セシムルノコトモ亦事實ナリ
然レナカラ現在ノ社會的輿論ヲ考フル時首腦部力罷業
撤回斗争ノ強行戦術トシテスト休止宣言ヲ後シタルハ
又止ヲ得サル事ト思フ我々ハ現在迄首腦部絶對信頼ノ

態度ヲ以テ斗争ヲ繼續シ来リタルカ尙將來ニ亦合様絶
大ノ信頼ト支援トヲ為ス事コソ我々ノ斗争ヲ勝利ニ導
ク最善ノ方法ナリト信スト首腦部ノ根本方針ヲ支持
シ結局スト休止宣言ハ承認セラレタルカ自動車藤田ハ
十八ハ

「自動車部ハストライキ繼續ノ態度ヲ決議シテ居ル」
ト暗ニ首腦部ノ方針ニ屈服シ能ハサル態度ヲ表明シコ
ノ問題ヲ打切

四 調停委員會委員ノ送任問題

熊本ヨリ 強制調停委員會ノ勞働者側委員ノ送任ハ首
腦部ニ一任セラレ度キ旨ヲ述ハ承認ヲ得、更ニ組合側
ノ送出委員ハ 熊本利男、河野平次、植村貞雄、ノ三
名ニ決定シ届出ヲ了セル旨ヲ報告
之ニ對シ自動車部大倉清、電車部五十嵐子女次郎等ヲ